


当社の原子力発電所の状況

2023年4月
関西電力株式会社



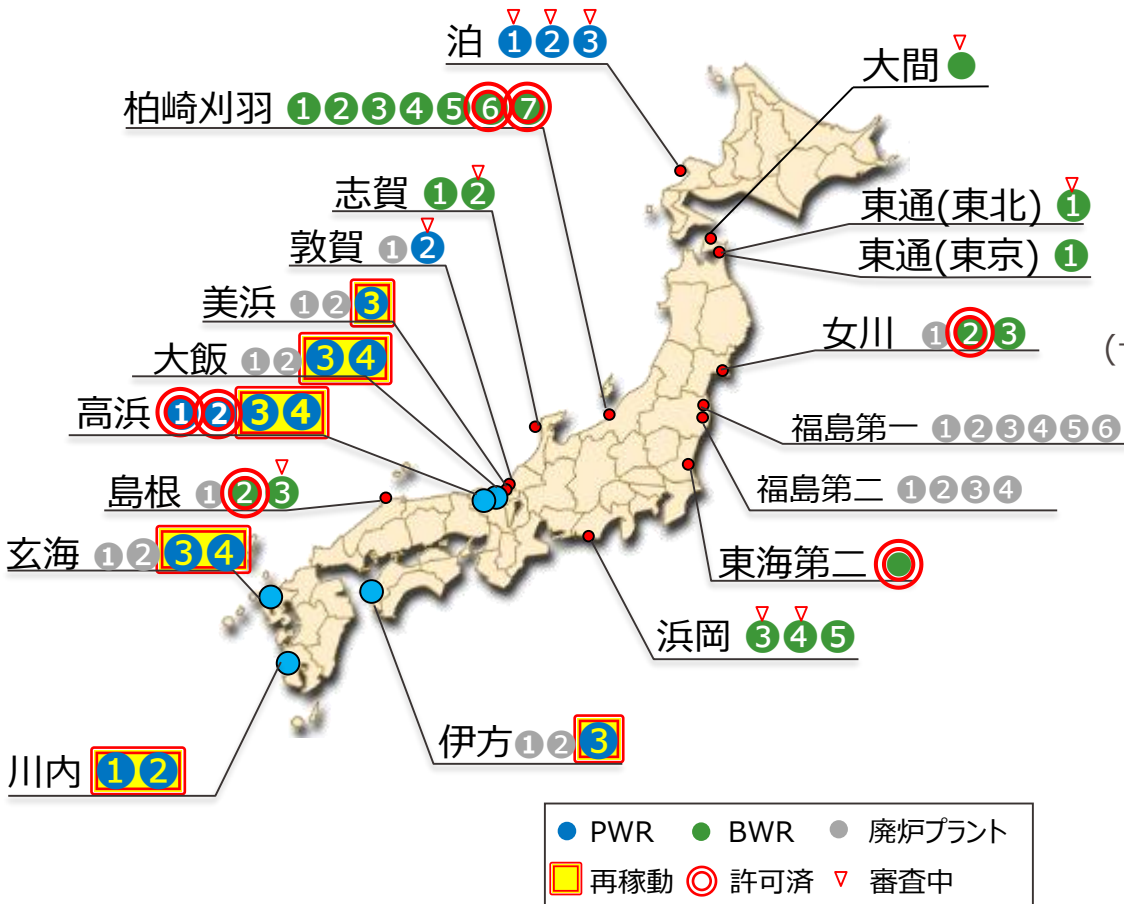
目次

1. 再稼動への取組み
2. トピックス
 - (1) 特定重大事故等対処施設の概要
 - (2) 廃止措置の状況
3. まとめ

1. 再稼動への取組み

国内の原子力発電所の現状

新規制基準適合性審査



東日本大震災
発生時点の
原子力プラント数
(一部建設中を含む)

57基

許可済：17基
(PWR:12基、BWR:5基)
(内再稼動：PWR10基)

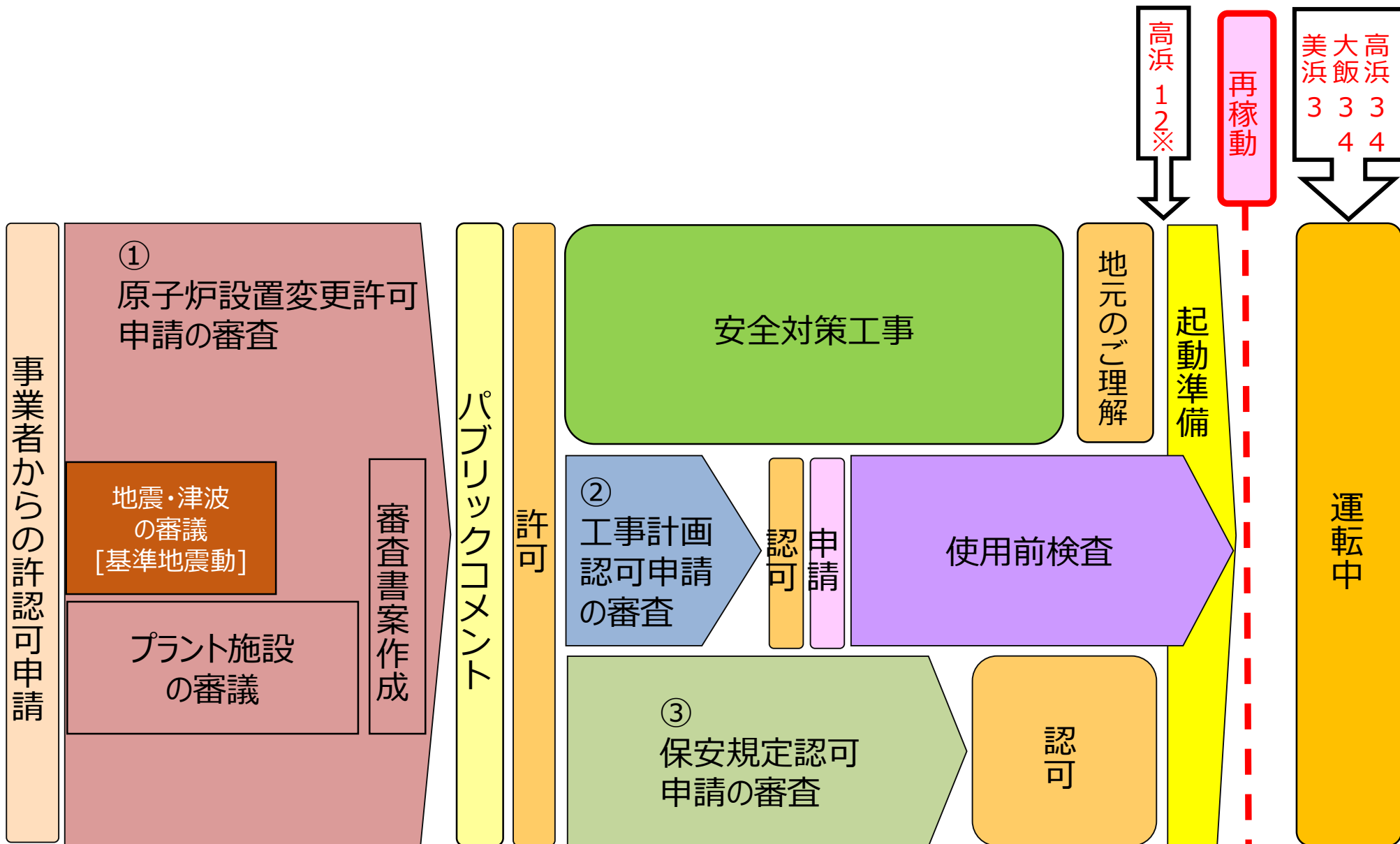
審査中：10基
(PWR:4基、BWR:6基)

未申請：9基
(BWR:9基)

廃炉：21基
(PWR:8基、BWR:13基)

36基

- 許可済のプラント17基のうち、当社のプラントは7基。
- また、40年を超える期間の運転を認められているプラントは全国で4基。
うち、当社では美浜3号機(再稼動済)、高浜1,2号機の3基。



※ 高浜1, 2号機への再稼動について地元のご理解を頂いた。

原子力プラントの状況

(2023/4/27時点)

	2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
美浜 3号機	▼9/1 (9/26)		10/25 ▽		3/13 ▽		▽6/11 (7/7)	
	定期検査	運転	定期検査	運転	定期検査	運転	定期検査	運転
高浜 1号機	定期検査		▽6/3 (6/28)		4/22 ▽		9/5 ▽	
	定期検査		運転		定期検査	運転	定期検査	運転
高浜 2号機	定期検査		▽7/15 (8/9)		9/8 ▽		1/22 ▽	
	定期検査		運転		定期検査	運転	定期検査	運転
高浜 3号機	▼7/26 (8/19)		9/18 ▽		1/16 ▽		未定※1	
	定期検査	運転	定期検査	運転	定期検査	運転	定期検査	未定※1
高浜 4号機	6/8 ▽		12/16 ▽		5/28 ▽		未定※2	
	運転	定期検査	運転	定期検査	運転	定期検査	運転	未定※2
大飯 3号機	8/23 ▽		2/11 ▽		6/9 ▽		未定※2	
	運転	定期検査	運転	定期検査	運転	定期検査	運転	未定※2
大飯 4号機	▼7/17 (8/12)		8/31 ▽		12/13 ▽		未定※2	
	定期検査	運転	定期検査	運転	定期検査	運転	定期検査	運転

※1：2025年1月16日に運転開始40年を迎えることから、以降の計画を「未定」とする。

※2：2025年6月4日に運転開始40年を迎えることから、以降の計画を「未定」とする。

※3：1月30日に原子炉自動停止。3月25日に並列し、営業運転を再開。

() は総合負荷性能検査受検実績・希望日

2. トピックス

- (1) 特定重大事故等対処施設の概要
- (2) 廃止措置の状況

(1) 特定重大事故等対処施設の概要

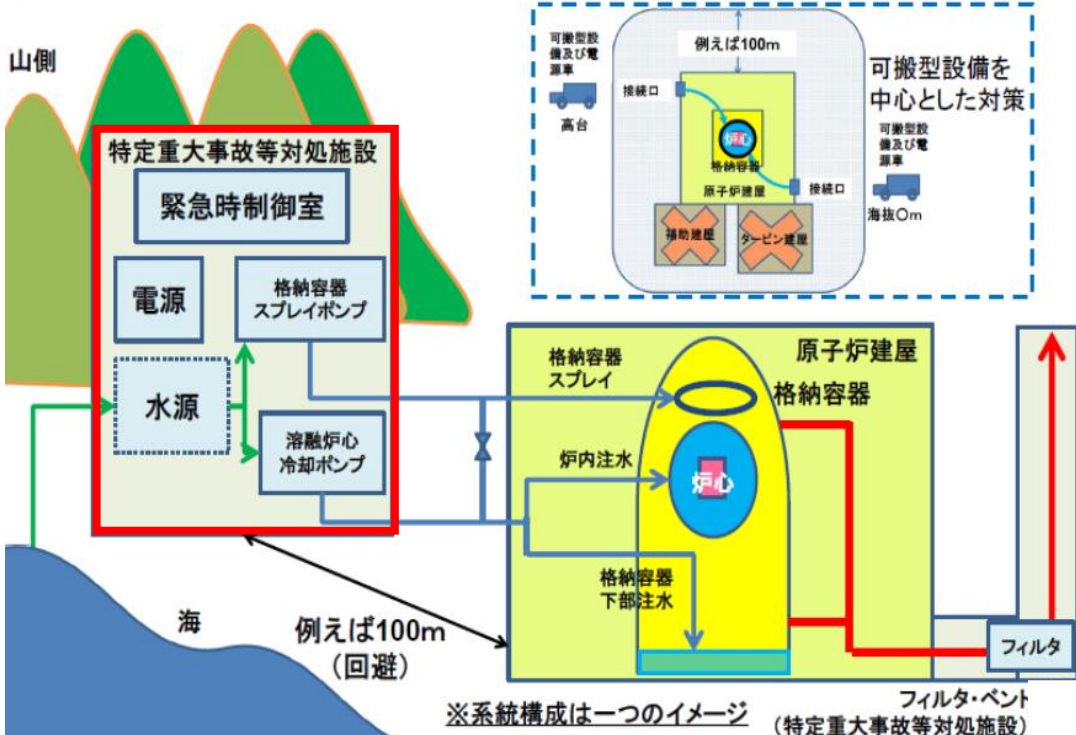
特重施設等については、当社として、発電用原子炉施設の更なる安全向上のために必要なものと認識しており、早期完成に向けて引き続き最大限の努力を継続してまいります。

○高浜3号機は2020年12月11日、同4号機は2021年3月25日、美浜3号機は2022年7月28日、大飯4号機は2022年8月10日、同3号機は2022年12月8日に特重施設の運用を開始。

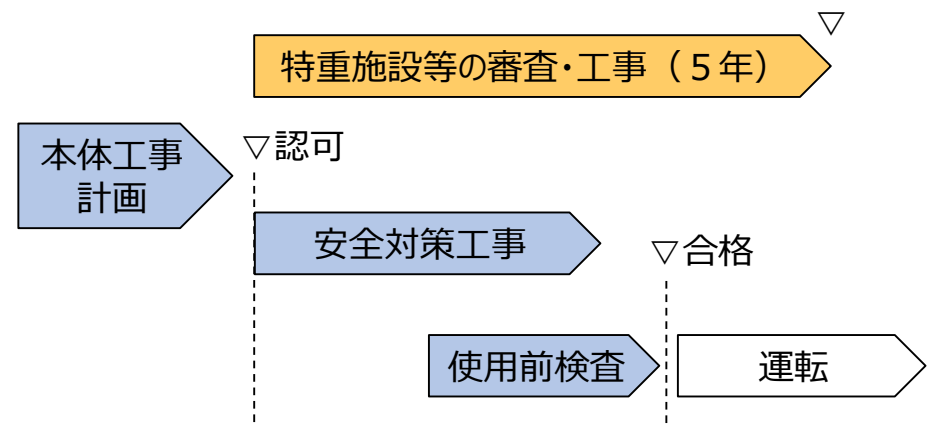
○その他、高浜1号機は2023年5月頃、高浜2号機は2023年6月頃に特重施設の運用開始予定。

意図的な航空機衝突などへの対策

- ①意図的な航空機衝突などへの可搬型設備を中心とした対策（可搬型設備・接続口の分散配置）
- ②更にバックアップ対策として常設化を要求（特定重大事故等対処施設の整備）



特重施設
経過措置期限

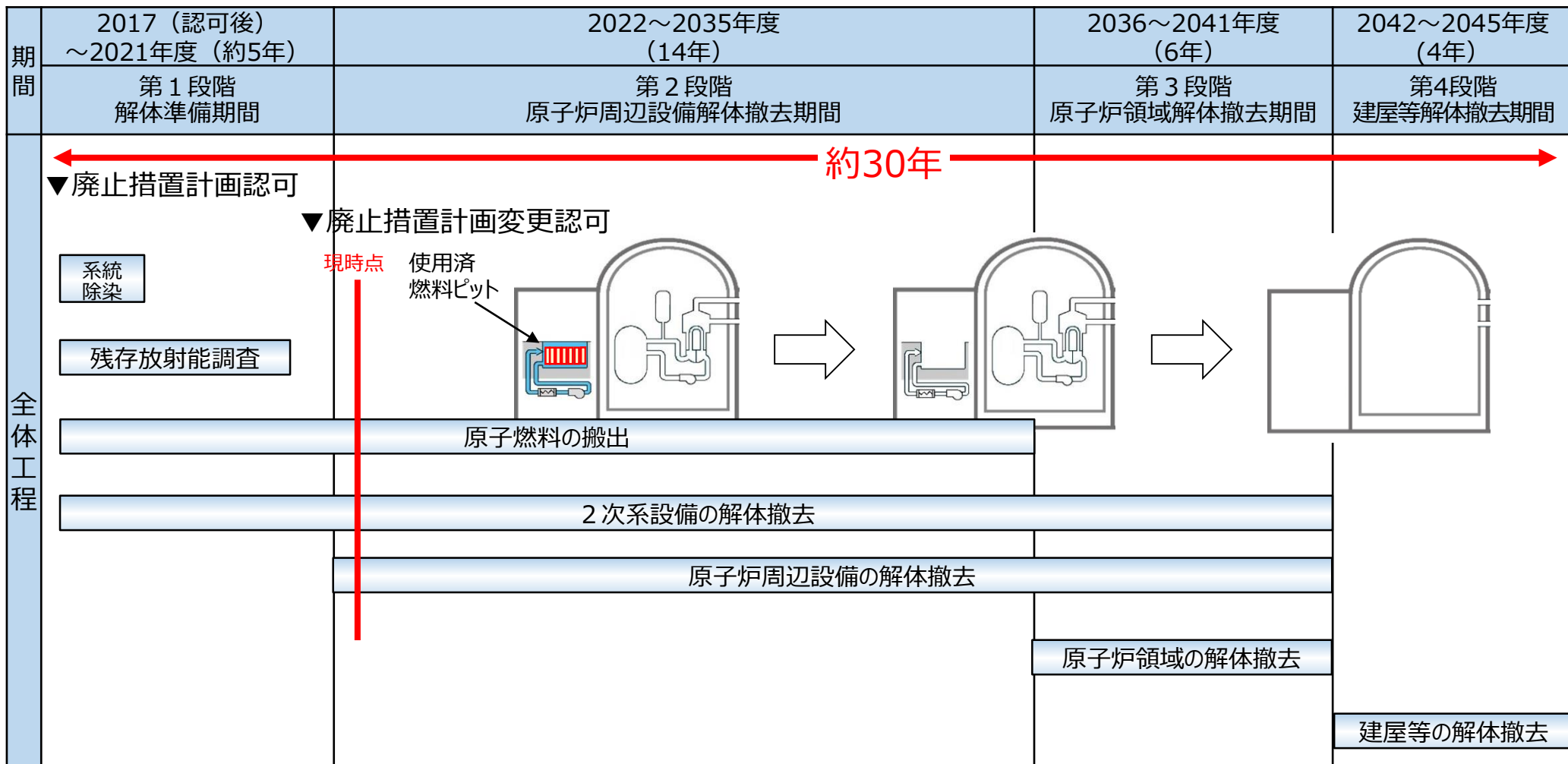


措置期限は、本体認可から5年

(2) 廃止措置の状況 (美浜 1, 2 号機)

- 2015年3月17日 廃止を決定し、同年4月27日をもって廃止
- 2017年4月19日 廃止措置計画認可
- 2022年3月23日 第2段階以降の廃止措置計画の変更認可

[廃止措置の全体工程]

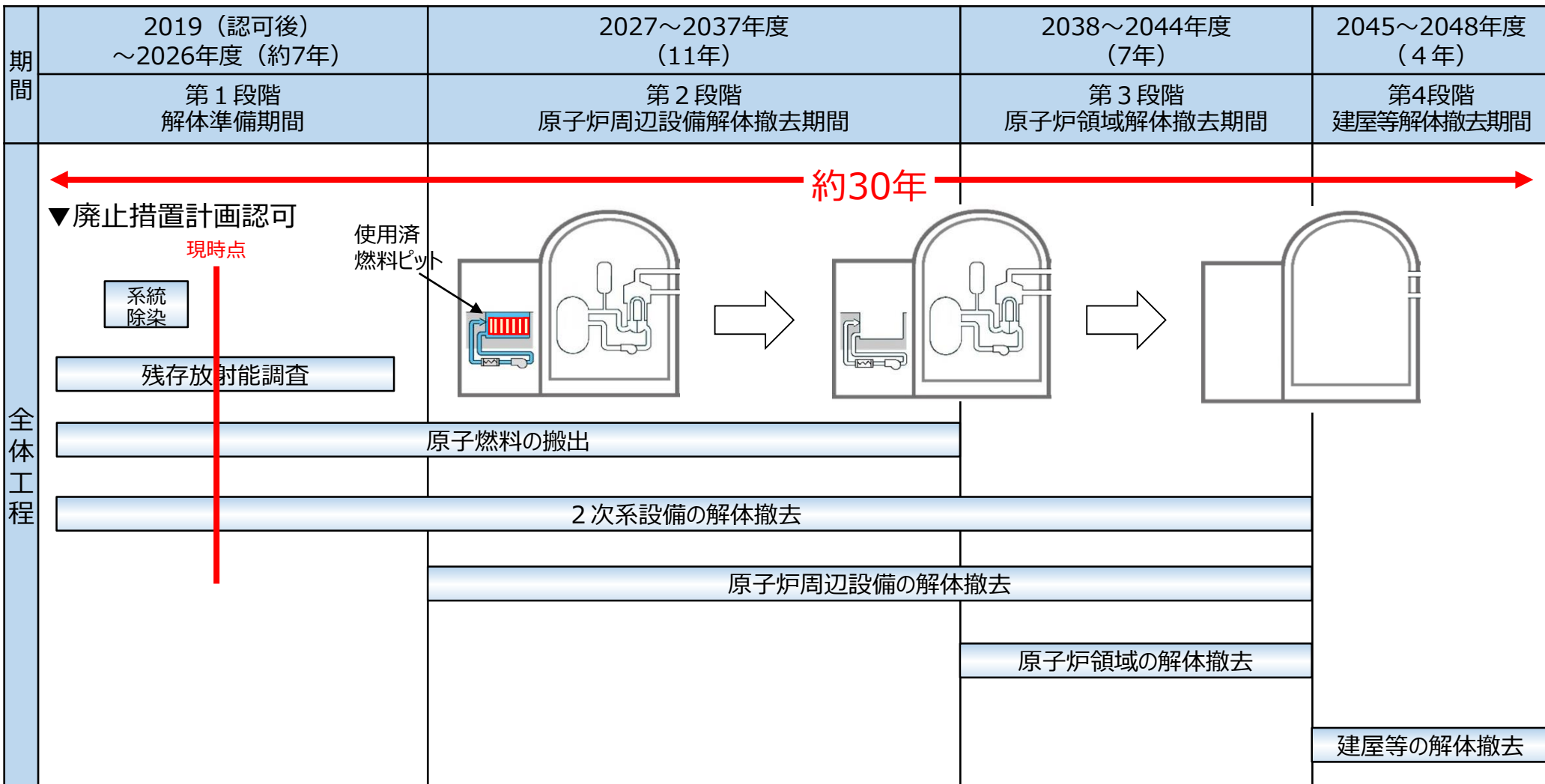


(2) 廃止措置の状況 (大飯 1, 2 号機)

○2017年12月22日 廃止を決定し、2018年3月1日をもって廃止

○2019年12月11日 廃止措置計画認可

[廃止措置の全体工程]



- 当社グループがこれまで事業を続けてこられたのは、お客さまや社会・地域の皆さまから賜る信頼のおかげであり、この信頼の源泉となるのが「安全」です。
- 再稼動した発電所の安全運転の実績を一つひとつ積み重ねるとともに、原子力の重要性や安全性について、地元をはじめ広く社会の皆さまにご理解いただけるよう努めてまいります。
- 特重施設等については、当社として、発電用原子炉施設の更なる安全向上のために必要なものと認識しており、早期完成に向けて引き続き最大限の努力を継続していきます。
- 廃止措置の実施にあたっては、必要な対策等を講じ、安全最優先で進めていきます。
- 当社は、信頼回復に全力を尽くすとともに、原子力における日本のリーディングカンパニーを目指し、原子力発電の安全性をたゆまず向上させていきます。